

ひかりの子の
日常生活紹介

齋藤 あさえ

児童発達センターひかりの子では、4つの遊び(紙・ボール・音・絵本)を行っています。好みの遊び方は一人ひとり違い、絵本ひとつとっても、絵であったり、色彩であったり、擬音語であったり、言葉のリズムであったりなど興味を持つところも様々です。ひかりの子では一人ひとりの興味関心に合わせ、その子の持

てる力を引き出すよう個別に遊んでいます。今回はA君(横地分類A3)の絵本遊びの様子を紹介します。
A君のところに『しろくまちゃんのホットケーキ』を持っていくと、手を伸ばして取り、じっと見ていました。それから絵本を職員に渡し、『はやく読んで』とでも言うように、両手で胸を軽くたたきように動かし、期待したままなぞして職員を見ていました。読み始めると手の動きも大きくなり、嬉しそうに聞いていました。

横地分類(改訂大島分類)

「移動機能」、「知的発達」、「特記事項」の3項目で分類し、以下のように表記する。

例：A1-C, B2, D2-U, B5-B, C4-D

〈知的発達〉					
E6	E5	E4	E3	E2	E1
D6	D5	D4	D3	D2	D1
C6	C5	C4	C3	C2	C1
B6	B5	B4	B3	B2	B1
A6	A5	A4	A3	A2	A1
					簡単な計算可
					簡単な文字・数字の理解可
					簡単な色・数の理解可
					簡単な言語理解可
					言語理解不可
					〈特記事項〉
					C:有意な眼瞼運動なし
					B:盲
					D:難聴
					U:両上肢機能全廃
					TLS:完全閉じ込め状態
					寝返り不可
					寝返り可
					座位保持可
					室内移動可
					室内歩行可
					戸外歩行可

(移動機能)

語りに合わせてページも上手にめくることができます。「しろくまちゃんがあまぜます。こむぎこ・・・」こまでくるとめくる手を止め、読む声にじっと耳を傾け、絵本もよく見えています。次のページの「ぼたん、どろどろ、ぴちぴち・・・」とホットケーキを焼くシーンでは、焼ける様子をひとつずつ指さしながら語りかけていくと、目はキラキラ、手はバタバタとさせて大喜びしていました。そのページをめくると、急にA君が前の方のページへとめくって戻しはじめました。絵を見ながら、あちこちめくっていましたが、「しろくまちゃんがあまぜます。こむぎこ・・・」のページまでくると、催促するように声を出しました。再



び読み始めると、胸を軽く叩くように両手を動かして喜んで聞いていました。ホットケーキをフライパンで焼くシーンになると再び目を輝かせ、気持ちの高まっている様子がありました。最後は満足そうに自分で絵本を閉じました。描かれているものに関心を持ちたり、くり返しを喜んだり、次に読まれることを期待したりと昨年度にはない成長がみられました。



あおばの
日常生活紹介

池谷 光恵

Aさん(横地分類A1)は職員が傍に行くと近寄って来て職員の方を見ます。声を掛けると笑顔で職員が活動の準備をしている様子を良く見えています。「つみき」の本を読んだ時、挿絵の積み木が1つずつ数を数えながら積み上がったっていく様子を感じているようでした。また積み木が増えて、形が変化していくことにも気が付き始めた様子でし

た。繰り返して本を読んでいくうちに「ゆらゆら・・・」と積み木が揺れている様子の挿絵をジッと見て注目をするようになりました。ゆらゆらしている積み木の様子を楽しいと感じ始めていたようでした。何度か読んでいくと「ゆらゆら・・・」の後にくる「がっしやん」で積み木がバラバラに崩れている所で表情が緩みます。積み木が1つずつ積みまれていく所も良くみており、積み木が積み上がり崩れたということに気が付いた様子でした。形の変化に気が付き良く見ていることや数えながら積み上がるリズムを楽しんでいるように感じたため実際の積み木を使った遊びを提供していただきました。

